

OECU杯

ヒト型レスキューロボットコンテスト 2016

概要

- 日時: 2016年11月6日(日) 12:00~17:00
- 場所: 大阪電気通信大学 駅前キャンパス1階
- 主催: ヒト型レスキューロボットコンテスト実行委員会
- 共催: (一社)日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門、大阪電気通信大学 自由工房、(一社)R×Rコミュニティ
- 協賛: (株)アーテック、(株)アールティ、(株)アールティフォワード、ヴイストン ロボットショップ、(株)MGIC、共立電子産業(株)、クアッドセプト(株)、クラフトハウス(株)、佐竹技研、サンリツオートメーション(株)、(有)杉浦機械設計事務所、(株)ダイセン電子工業、(株)プロアシスト、ロボティズ
- Mail: humanoid-rescon@googlegroups.com
- Web: <http://goo.gl/XOMEeC>



スケジュール

- 12:00~15:00 ファーストミッション (19 競技)
- 15:00~15:30 休憩・調整
- 15:30~16:30 ファイナルミッション (6 競技)
ミニ講演(神戸大学 横小路 泰義 先生)
- 16:30~17:00 表彰

ヒト型レスキューロボットコンテストとは

ヒト型レスキューロボットコンテストは、ヒト型ロボットによる災害救助をテーマにしたロボットコンテストです。ヒト型ロボットを遠隔操縦して、約 4m×2m のフィールド内で「トンネルくぐり」「段差乗り越え」「ガレキ除去」「要救助者搬送」の四つのタスクを順に実行し、成功したタスクの数や、かかった時間の短さを競います。また、各タスクに対する審査員による評価も重視されます。

本コンテストの基になっている「レスキューロボットコンテスト」は、2000 年から毎年開催されており、ロボット競技を通じて、ものづくりの楽しさを伝えるとともに、防災や減災の大切さや難しさを考える機会を提供しています。本コンテストも、この考えを継承し、さらに多くの皆さんに輪を広げるために開催します。

レスキューホイッスル(受付で販売、1個200円)

本家レスコン実行委員会が、チャリティーグッズとして製作。売り上げは全て日本赤十字に東日本大震災の義援金として寄付します。



競技者・ロボット (ファーストミッション競技順)

氏名	所属団体	ロボット名	氏名	所属団体	ロボット名
1 押山	大阪産業大学 ロボットプロジェクト	あーるぐれい	10 牛尾 真野	大阪電気通信大学 自由工房 HRP	アクイーア
2 北岡 容和	大阪工業技術専門学校	付け焼刃君	11 河津 悠里	産業技術短期大学	Rescue BLUE
3 保井 陽香里	産業技術短期大学	Rescue YELLOW	12 佐々木 北斗	大阪工業技術専門学校	ミヤザック Mk-II
4 バーミヤン	大阪産業大学 ロボットプロジェクト	試作四号機	13 T	大阪産業大学 ロボットプロジェクト	OUTSET 改
5 中村 篤哉	大阪工業技術専門学校	ダンデライオン	14 佐川 祐樹	大阪工業技術専門学校	クラージュ
6 近藤 隆路	個人	RB2000SF	15 せ	大阪産業大学 ロボットプロジェクト	ANSWER
7 三木谷 佳歩	大阪電気通信大学 自由工房 HRP	なんきん	16 中野 裕也	大阪工業大学	1号
8 吉山 純司	産業技術短期大学	Rescue RED	17 佐藤 雅也	大阪市立大学	バルタン S
9 坪谷 勇希	大阪工業大学 ロボットプロジェクト	スターニャンタニー	18 廣瀬 大起	産業技術短期大学	Rescue WHITE
			19 岩崎 豪真	九州工業大学	KYUTECH

競技時間とポイント

競技時間:6 分間

ただし、ファイナルミッションで搭載カメラ遠隔操縦の場合に限り 9 分間

総合ポイント(1000 点満点)

=タスクポイント(400 点満点)

+残り時間ポイント(300 点満点)

+審査員ポイント(300 点満点)

タスクポイント=成功したタスクの数×100

残り時間ポイント(通常)=360-所要時間(秒)

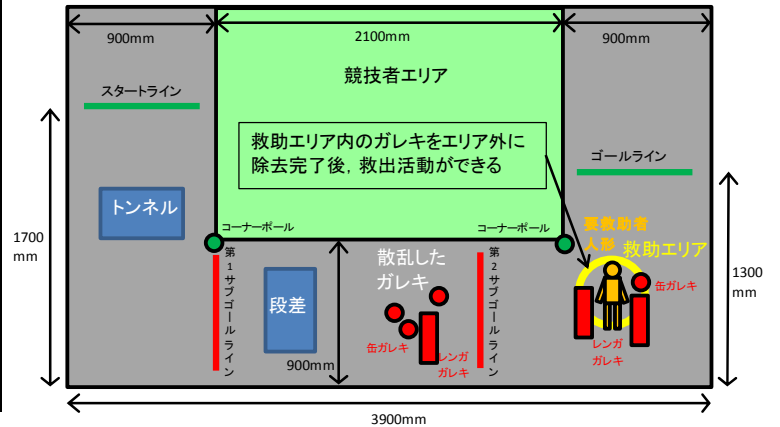
残り時間ポイント(ファイナルで搭載カメラ遠隔操縦)

=540-所要時間(秒)

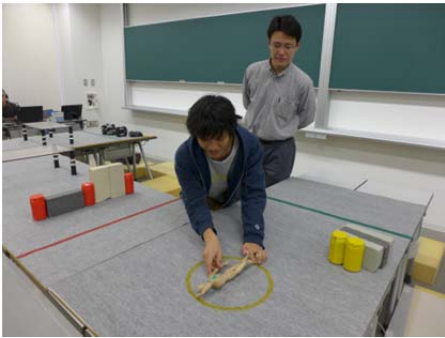
審査員ポイント

=3 人の審査員のポイント(100 点満点)の合計

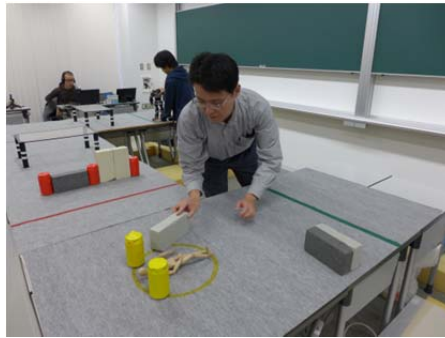
競技フィールド



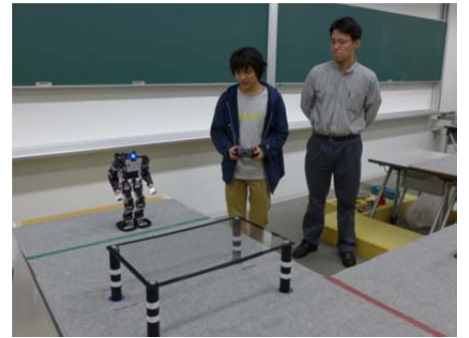
競技の流れ



(1) 競技者が要救助者人形を配置



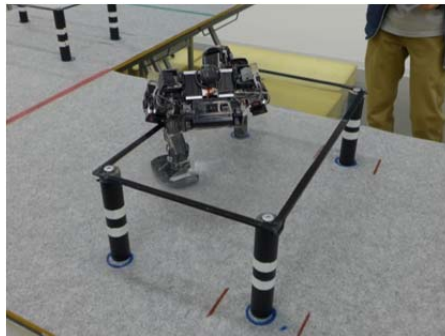
(2) 審判がガレキを配置



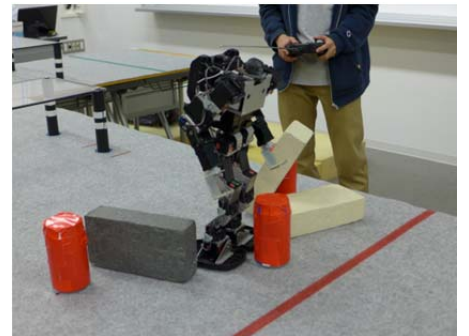
(3) スタートエリアから出動



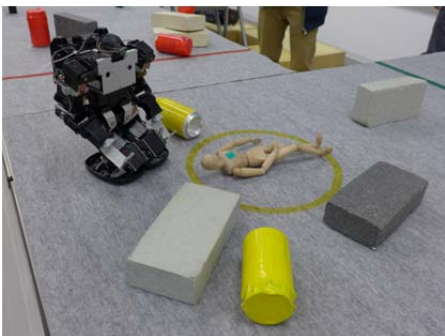
(4) トンネルくぐり(制限時間 1:30)



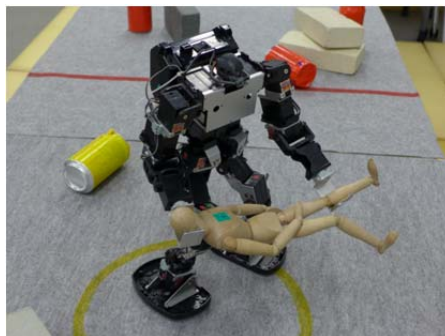
(5) 段差乗り越え(制限時間 3:00)



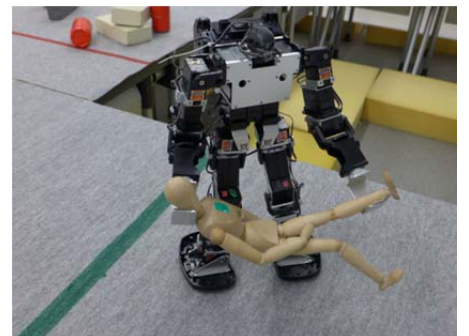
(6) 路上ガレキを押しわけ



(7) 救助エリアのガレキを除去
(制限時間 4:30)



(8) 要救助者人形を搬送



(9) 人形の全身がゴールラインを越えるとレスキュー活動完了